

化学・生物総合管理の再教育講座(講義内容)

後期

科目No.	453	科目名	リスク学事例研究4		サブネーム	組織行動学による失敗事例の検証(その2)		
共催機関名	失敗学・組織行動研究会	レベル	中級		講義枠	土曜日	講義時間	10:00～11:30, 11:50～13:20, 14:00～15:30, 15:50～17:20
科目概要(300字)	多くの産業事故や不祥事について、組織行動学の視点で検証すると似通った組織構造上の問題点やヒューマンウェアとの相互作用による問題点が明らかになる。これらの事故や不祥事を通してリスク管理に有用な対応案を論じる。失敗事例としては、産業界はもとより航空、医療、メディアまでの幅広い分野から著名な事例を取り上げ、それらを組織行動学の視点から解析し、再発防止に資する試案を紹介する。まとめとして、組織事故研究の在り方として(仮称)組織失敗学の実践例を紹介する。							

サブタイトル	講義名	講義概要(150字)	講義日	教室	講師名	所属
はじめに	1 組織行動研究へのいざない(その2)	失敗を生かすための研究が発展し、失敗の背景にある組織的要因の研究に関心が高まっている。産官学の分野から集まった「失敗を組織行動学の視点で研究する」私達のグループの歩みを紹介しながら、15回の講義内容を概括する。	10月7日		石橋 明	
事例研究	2 産業:旧動燃解体に見る組織上の失敗	H7もんじゅナトリウム漏れ事故、H9アスファルト固化処理施設火災爆発事故などにより、組織が解体された政府機関:旧動燃に対して組織行動の視点から研究し、リスク管理の組織的失敗に言及する。	10月7日	1号館304	加藤 豊	失敗学会組織行動分科会
	3 航空:テネリフェのジャンボ機衝突事故	S52にスペイン領テネリフェ島で起きたジャンボ機衝突事故(死者538名)を事例に、事故原因を組織行動学の視点を中心に紹介し、一般企業が学ぶ事項に言及する。	10月7日		石橋 明	
	4 産業:繰り返される環境監視データの改ざん事件	公害防止の生命線である環境監視データ改ざんがまたも顕在化した。企業は「あつてはならないこと」とお詫びし、再発防止に向けて管理を強化するという疑問視する声も少なくない。環境経営を戦略に掲げる基幹産業においてデータ改ざん事件が相次いだ原因を組織行動から考える。	10月7日		河東 康一	
	5 医療:SARS発生後の情報提供上の失敗	医療機関に勤務する立場からSARS発生後の国内における行政、マスコミの情報提供とその受けて側の過剰反応を主テーマに、ベトナムや中国など発生国と対比しながら考察する。日本の衛生行政の原点になった明治期のコレラ大流行とパニックに陥った住民によるコレラ騒動を採り上げ、危機管理の議論を供する。	10月14日		川路 明人	
	6 産業:協和香料化学事件	国際機関で認証されていて、国内では未認可であった食品添加物を使用していた事件が顕在化し、社会問題化した。その中でも倒産に追い込まれた本事件を振り返り、法制度や香料業界の再発防止策などに触れながら、事件の背後に潜む誘発要因の抽出と一般化を試みる。	10月14日	1号館204	茂木 真	
	7 食品:BSE問題	食の安全の視点から本講義ではBSE問題をとり挙げ、現在明らかになっている事実、経緯、ヒトの疾病のリスク及び各国が実施している防護壁や研究途上の生化学的な防護壁の可能性を紹介し、リスク低減化を妨げている組織的要因を探り防護壁のあるべき姿を模索する機会を提供する	10月14日		上原 龍	
	8 産業:産業界で頻発する配管漏れ事故	関電・美浜原発蒸気配管噴破事故、旧動燃「もんじゅ」ナトリウム漏れ事故他、配管・設備機器からの漏れ事故が繰り返されている。それらの事故の背景には組織運営上の問題が指摘されている。プロセスエンジニアの視点からそれら問題点の見解を述べ組織のあり方や産業技術の社会的意義など失敗学の論議に供する。	10月14日		曽根 邦彦	
	9 メディア:報道現場における誤報事件(その2)	前期講義での総論的なメディアの報道現場での誤報問題に続いて、日米での誤報事例の象徴的な事例を2つピックアップし問題を検証する。また日米のメディアに共通するもの、相違するものを挙げ、なぜ誤報をなくせないか、その課題を取り上げる。	10月21日		牧野 義司	
10 産業:雪印乳業食中毒事件	雪印乳業食中毒事件は事件発生後大きな社会問題となり、企業のブランド崩壊だけでなく、企業そのものも崩壊した。事件に関するメディア情報やドキュメンタリー「本」も数多く出版されているが、この事件を組織行動学の視点で分析し、真の背景原因を究明し検証する。	10月21日	1号館304	近藤 哲生		
11 産業:システム開発プロジェクトの失敗事例	IT関連のシステム開発の失敗による訴訟が激増している。東京地方裁判所での訴訟件数が20件を越えている。発注者と受注者、受注者と又受け会社間の契約問題、信頼関係の問題など、訴訟の背景原因をプロジェクトマネジメントの視点で分析し、再発防止策を検討する。	10月21日		近藤 哲生		
12 産業:組織ストレスとリスクコミュニケーション	組織集団に成立する危機管理意識と社会が求める安全安心の意識には、大きなギャップが存在するという認識を原点に「リスク認知の研究」や「リスクコミュニケーションの研究」へのヒントを探る。組織集団が必ず陥る社会的「組織ストレス」の存在を事例(企業組織失敗談)で論じる。	10月21日		竹下 隆		
13 公的機関:2001年国立大学入試過誤	情報伝達エラーの事例として「総合情報システム」とみなす事ができる公的試験(テスト)の運営をとりあげ、2001年度の入試過誤事例をベースにその組織的要因を探るとともに、当該大学がその失敗からいかに組織を再生させようとしたかを考察する。	10月28日		安孫子 順子		
14 ネット:東芝クレーマー事件	ネット告発として社会的な関心を集めたこの事件の話題増殖プロセスを分析することを通じ、サイバー空間でのレピュテーション形成メカニズムを考察する。	10月28日	1号館301	濱田 逸郎		
まとめ	15 まとめ:仮称「組織失敗学」実践の試み	失敗事例研究を通じて得た知見をベースに仮称「組織失敗学」として体系化し、その思想に沿って中小企業で実践した結果を紹介し、今後の「組織失敗学」研究促進への課題提案を行う。		10月28日	中田 邦臣	